

令和4年度 中部厚生センター献血推進協議会 議事録（要旨）

日時：令和4年10月26日(水)15:10～15:40

場所：上市町保健福祉総合センター2階研修室

1 開 会

委員25名のうち、本人18名、代理5名の合計23名出席

2 議 事

献血事業の推進について、配付資料に基づき説明

3 質疑応答

【委 員】

血液確保の状況について、200m^l献血の達成率が178.2%となっている。200m^lについては、血が余っているということか。

【事務局】

今、ほとんどが400m^lの献血でお願いしており、200m^l献血というのは体重が50キロに満たない方や16～17歳の高校生にお願いしているものであり、抑制的に行っている。というのも200m^lというのは病院からの注文がほとんどない。98～99%が400m^l献血。したがって目標値が大変小さく設定されている。しかしながら高校生に献血をお願いすると200m^l献血がどうしても増えてしまう。絶対数としては全体からみると微々たるものである。余っているということはない。

【委 員】

目標値を超えた分は廃棄しているというわけではないのか。

【事務局】

廃棄はしていない。病院からの注文が400m^lであったとしても200m^lでお願いしている。

【委員】

献血を複数回行うと記念品をもらえると説明があったが、これは何のことか。

【事務局】

1年に2回、3回と複数回献血していただいた方に記念品をお渡しすることになっている。そのための引換券を8月から12月の間に配付し、その後、12月から3月までの間に2回目以降の献血を行っていただいた方に記念品をお渡しすることになっている。記念品そのものは大したものではない。

【委員】

成分献血というのはどれだけの血液をとるのか。

【事務局】

成分献血の血小板、血漿については体重にあわせて血液をとることになる。体重が重い方ほど沢山の献血をしていただくことになる。体重の軽い方はそれに合わせて献血していただくことになる。人によって献血の量は変わる。最大で600mlとなり、これが上限となる。基本的に献血していただける方の安全を最優先に考えている。

4 閉 会